

農家が考案した優れた技術の普及を目的に日本農業新聞が設けた、2012「営農技術アイデア大賞」が決ま

営農技術 アイデア大賞 2012

った。大賞は、岩手県花巻市の岩間勝利さん(60)が考案した商品化にこぎ着いた草刈り刃「岩間式ミラクルパワーブレード」(8月21日付東北版)。従来のチップソーに比べ刃を小さくしたことでも草が絡まらず、低速回転で安全性・燃費が向上した点が評価された。

優秀賞3点は、佐藤嘉美夫さん(山形県寒河江市)の「オウトウ低樹高棚状仕立て」(7月13日付総合営農版)、進藤真直さん(長崎県雲仙市)の「早くて楽ちんじやが拾い機」(6月8日付総合営農版)、坂本勇さん(埼玉県川島町)の「腰に優しいゴムバンド」(4月26日付総合営農版)となった。

(一面参照)

構想10年、商品化につなぐ



岩間勝利さん

岩手県花巻市の岩間勝利さん(60)。「喜びの声」刃を小さくすれば回転抵抗が減らせるはずだと、10年間構想を練ってきた。どこかで商品化してくれないか。ある晩、酒を飲んだ

うれしかったのは自分の構想がフロに伝わったこと、改良して完成するまでの過程。商品名にも名前を付けてもらった。中国製の安い刈り刃が多いが、国産で軽くなるの切れ味だという意味が込められている。農家のためになっ

大賞 岩間式ミラクルパワーブレード

岩手県花巻市 岩間勝利さん

「ただいま、千工夫」

草刈り作業 優しく効率よく

低速回転で草絡まず



低速回転での草刈り作業を実現した岩間式ミラクルパワーブレードを手にする岩間勝利さん(岩手県花巻市)

優秀賞 オウトウ低樹高棚状仕立て

した。低木にすれば高輪になる。でも安全に作業ができる。JASAがえ西村山が普及を進める。

非常にうれしい。

抜群の着想 農家に貢献

商品化した日光製作所(長

藤原小野市)の福本幸男社長に気付いたこと。商品開発の農家の知恵から生まれた商品で、草刈り作業に貢献したと思う。岩間さんがすごい点は、草刈り作業の中で市販の八枚刃の12枚もある刃を、3枚に削るとうまくいくこと

光る柔軟な発想



井上清氏

大賞に選ばれた岩間さんは、草刈り時に刈り刃に草が絡みついて作業性が落ちるのを何とかしようと考案した。必要性を感じて改良し、商品化までいった農家のパワーと知恵を感じる。低速回転で安全性を確保し、燃費も削減できる。作業性の向上と安全にも着目した。

最新の技術でなくても、あるものを工夫したり改造したり、農家の柔軟性を感じる。農業分野にはまだまだ改善しなければならぬことが山ほどある。営農技術アイデア大賞の発表により多くの技術が生まれ、普及していくことを期待する。

審査委員長 井上清氏

井上清氏(全国農業改良普及支援協会会長) 遠藤友彦氏(全国農協青年組織協議会会長) 宮原健彦氏(農研機構・生研センター生産システム研究部長) 水井善介(日本農業新聞編集局長)

腰を痛めた妻 楽させたくて



「じやが拾い機」に腰掛け選別する進藤さん夫妻(長崎県雲仙市)

収獲は2倍もあるコンテナを動かすので大変。妻は腰を痛

早く楽ちんじやが拾い機

「喜びの声」ジャガイモの

技術のポイント